

あれこれ通信

TeL / Fax 0493-62-7997  
http://space.tom-shibuya.com  
e-mail 713@tom-shibuya.com

# 渋谷とみ子の議会報告No.70



## 3・11以降、新しい価値を求め、予算を見直しましょう！

下のグラフは嵐山町 H24 年予算総額です。国の税収・町の税収も落ちていきます。国民健康保険・介護の経費がかさみます。少子高齢化と環境悪化で経費はふくらみます。町の必要経費の不足額を、国が町に臨時財政特例債という借金をさせることで、町事業を進め、今をしのぐのが国の政策です。

### 24 年度予算でよいところは

子ども医療費（0 才～15 才）の窓口払いを続けて、廃止した場合に発生する 3000 万円を子育て支援にします。保育料の支援、予防接種費用の補助、小中学校の学用品の費用等に当てます。

窓口払い廃止は、国の政策とは異なるのでペナルティがあること、自分の財布から払わないと医療機関に行くことが多くなり、医療費が膨らむので 3000 万円余分に発生する計算。医療機関でとりあえず支払い、医療費をチェックし町に請求してください。

川の浄化を進めるために市街化調整区域の合併浄化槽設置が始まります。今まで個人負担は 5 人槽で 90 万円が個人負担 9 万円で設置でき、町が合併浄化槽管理料を徴収します。

介護保険料・国民健康保険料を値上げせず、運営します。

### なすべきことは

観光産業や再生可能エネルギーなどの新しい産業をつくりだすことです。

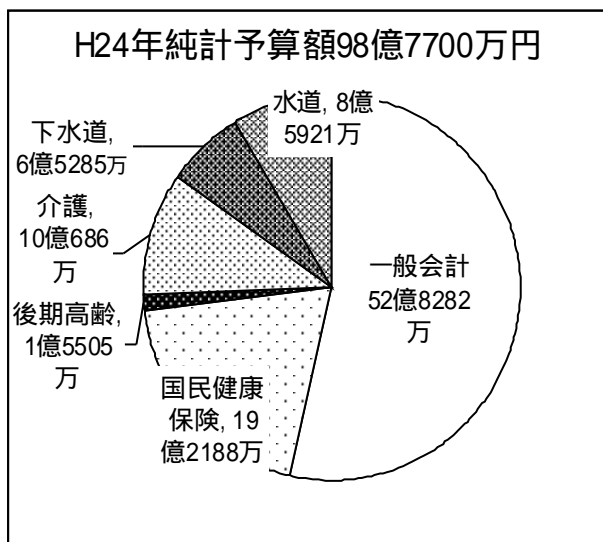
### 問題点

議員が代表をしている嵐山町土地改良団体連絡協議会補助金毎年 74 万 5 千円、部落解放同盟嵐山支部補助金毎年 69 万円は、支出内容が不透明です。町の公金は、皆が納得できる使い方にしてほしいですね。

同和活動団体との交渉・研修・補助金交付は卒業を！町は同和政策に 600 万円以上支出。人権政策として、同和政策は、根本的に

見直し、こどもの虐待、貧困、IT による人権侵害等への対応、女性への暴力への対応、外国人差別などに予算を組み替えましょう。

昭和 49 年建設の社会的同和问题解決のための町立吉田集会所の耐震診断 226 万円を予算化。老朽化した建物です。廃館にし、北部地区の施設を七郷小周辺に集中させ北部交流センターを充実させたいと考えます。



純計予算は、会計から会計の相互のやりとりで2重になる部分を除いたものです。



100 年の計をもつ新しいまちづくりのシナリオを作りましょう。